

ふれあいトーク議事録

10月26日(木) 栗原地区まちづくりセンター
 10月28日(土) 府中地区まちづくりセンター
 10月29日(日) 岩手地区まちづくりセンター
 11月1日(水) 東地区まちづくりセンター
 11月2日(木) 垂井地区まちづくりセンター
 11月3日(金) 宮代地区まちづくりセンター
 11月6日(月) 表佐地区まちづくりセンター

頁	項目	意 見	回 答	地区
-	全体	<p>第5次総合計画からの変更点はどこか。前回計画の達成度合いからみて、どのように軌道修正をしたのか知りたい。</p>	<p>ほぼ第5次総合計画から引き継いでいる状態で、第5次総合計画全体の総括は本年度が終わってから行う予定となっている。今回新たに近々の課題として取り組んでいるものとしては、「3-5 空き家等対策」について。これはワークショップでもご意見が出たので対応を明確にしていきたい。また、「7-3 タウンプロモーション」も新しい。「1-1 協働」及び「1-2 人権」に関しては前回から謳っているが、今回は計画のトップに持ってきたことで、まちづくりにおいて大きな役割を果たすこと、これをしっかり進めていきたいことを示した。</p> <p>総合計画は最上位計画なので、謳いこむか謳いこまないかによってそのあとの展開が変わってくる。総合計画では大まかなことを謳い、戦術的な部分として個別計画をしっかりとやっていきたい。</p>	東

-	全体	<p>広報 10月号に「より実行性が高く、実現性のある計画を目指します」と謳ってあるが、まずなにをするのか、目玉はなにをかを教えてください。</p>	<p>7つお示した戦略に関しては KGI、各課が仕事としてやっていく戦術に関しては KPI を使ってチェックしていくことで、実現性を高めていきたい。</p> <p>目玉というとキャッチフレーズになるかと思うが、垂井町としては協働のまちづくりというのがいちばん大きいと思う。これから間違いなく大事になってくるのは各地域での助け合い、相互扶助、共助を含めた地域力だと思う。地域力をさらに高めるためにも、住民と行政とが協働でまちづくりを進めていきたい。</p> <p>また、「7-3 タウンプロモーション」では交流人口を増やすために外への情報発信をしっかりやっていきたい。</p>	東
-	全体	<p>文章の中にアルファベットやカタカナの表記があるが、こういうものは日本語にしてもらいたい。</p>	<p>分かりにくい言葉については説明文を付けていく。使わなければいいというのも意見の一つだろうが、現時点では使っていくつもり。</p>	宮代
-	全体	<p>テーマ別戦略が大きく分けて7つあるが、それぞれが他のテーマにも関わってくるものなので、関連付けた運営をしていくべきではないか。国連で採用されているSDGs(国勢社会全体の開発目標)のようなものを地域でも取り入れてほしい。</p>	<p>それぞれの項目において、関連項目を記載しており、それらと関連付けて計画を進めていく考えでいる。SDGsについては前向きに検討していく。</p>	宮代
-	全体	<p>第5次総合計画と第6次総合計画では何が違うのか。</p>	<p>第5次総合計画は柱建てが8つあり、その通りに総括しており、アンケートも実施した。それを参考に第6次総合計画を作っている。5次の方でも指標をもって評価できるものを出そうと取り組んできたが、まだまだ十分ではない所もあり、そういった部分を今回修正した。</p>	栗原
-	全体	<p>計画を立てても何も変わっていないように思える。</p>	<p>こちらとしては、地域において自分たちがそれぞれの役割を果たしていくための体制を作ってきたつもりである。インフラに関してもトンネルや交差点の改良、施設だとかども園についても幼保一元化の促進という事で、着実に進んでいると感じている。</p>	栗原

-	全体	第5次総合計画でもこのような目標を掲げていたのか。第5次総合計画で達成できなかったものもここに入っているのか。	第5次総合計画でも指標を設けていた。昨年度、それに関して実施したアンケートの結果を受けて、現状分析や課題整理をしたうえで、第6次計画に着手している。	岩手
			第5次総合計画も期間は10年間で5年毎に見直しを行った。そのなかでいくつか目標数値を入れ込んでいるので、計画最終年度である平成29年度が終わった時点で総括して反省していく。第5次のときも具体的な数字を示すことで進捗管理をしている部分もあった。それを引き継ぎ、より細かいものとして、KGIがゴール、KPIがそれを成し遂げるための指標という形で様々な数値を織り込んで計画づくりを進めていきたい。	岩手
-	テーマ別戦略におけるKGI	KGIがどのようなものなのか簡単に説明をしていただきたい。	KGIとはまちの将来像、目標を決めるもののこと。KPIはどんなことをするのか、ということ。KGIのGはGoal、KPIのPはPerformanceを表している。例えば、KGIとして健康寿命平均80歳を掲げたとして、そのために講座の開催や健診〇回というKPIを設定した場合、いくらKPIが100点だとしても、KGIを達成していなければ意味がないので、毎年KPIを見直していく、という流れになる。	垂井
			まち・ひと・しごと総合戦略にも出てくるが、KPIとはkey performance indicatorの略、KGIとはkey goal indicatorの略のこと。	垂井
-	テーマ別戦略におけるKGI	住民の意識調査に関する項目が入っているが、基準が曖昧なので、例えばリサイクル率や年間の観光入込客数など、客観的な数字で表せるとわかりやすいと思う。 また、現況値が国や他の市町村などの平均に比べてどうなのか、ということがわかれば、今後どの項目に力を入れていくべきなのかがわかる。そういったメリハリを考慮すべきでは。仮置きでも数字を入れてもらえると参考になる。	第5次計画でもKGIやKPIに似たような目標指標を使用していた。今回は概略として示しているが、最終的には同じように指標の中に表を入れ込んで、スタートの数値、5年後・10年後の目標数値を掲載する。	垂井

-	テーマ別戦略における KGI	「～の住民の割合」はどのように集計しているのか。	計画策定にあたってアンケート調査を実施した。しかし、この一覧にはアンケートで取っていない数値もあるので、3月までに再度実施し数字を入れていきたい。先ほど、アンケートは抽象的であてにならないのではという意見もあったが、住民に回答いただき、計画の初期値を設定する。そして5年後、10年後に同じ質問をすることでその達成度合い、変化の度合いを調べていく。	垂井
-	テーマ別戦略における KGI	「住民」とあるが、対象はどのようにカウントしているのか。また、対象年齢や実施時期は。	あくまで個人としてカウントしている。学校の問題に関しては児童・生徒など、質問に合った形の対象を設定する。取れていない部分は1月2月くらいまでに実施して、数値を整理したい。	垂井
-	テーマ別戦略の体系における KGI	平成30年度のスタート時点の数値をいつ入れるのか。テーマ別戦略というのは5年毎に見直しが行われるが、KGIは5年で達成することを想定して設定するのか。	KGIのGはGoalなので、どんなまちにするか、ということ。KPIはそんなまちにするためになにをするのか、組織別行動計画のなかで職員が決めていくこと。先ほどおっしゃられたとおり、5年で見直しをするので5年後の目標を設定する。表を見ていただくはずばり数字で出ているものと、満足度など割合で出ているものがある。満足度などはアンケート調査の実施を考えている。KGIが決定した時に調査をして、住民の意向を確認したいと思う。もし5年後KGIが達成しなかった場合は、KPIはどうであったのかを見直していく。	東
-	テーマ別戦略の体系における KGI	<p>現在の実績値はすべてわかっているか。</p> <p>今日提案するときに現状がいくつかというのを示してくれた方がよかった。観光入込客数など、知らない数字もたくさんあるので、第5次計画に対しての実績値と、第6次計画の目標値を皆さんに説明するのが本筋ではないのか。数字があればできている、できていないの判断もできる。</p>	<p>わかっているものはあるが、第6次総合計画に合わせてアンケートをし直さなければならないものもある。観光入込客数に関しては、平成18年度は512,954人、平成29年度の目標値を65万人と計画を立てた。ところが、平成28年度は498,373人となっている。</p> <p>あくまで、第6次総合計画の指標を皆さんに知っていただきたいという思いでお示ししている。今回新たにアンケートを取らなければいけないものもあるので、調査を実施して数字を入れていく形になる。</p>	東

-	テーマ別戦略の体系における KGI	KGIについて、垂井町全体だけでなく、7 地区別で設定をすればより詳細な分析ができるのではないかと。例えば空き家件数など地区ごとで差があるように思うが。	指標によって異なる。今後地区の協議会と話を進めていくなかで、この指標に関しては地区ごとの数字が必要、となれば出すことは可能。しかし、町としては垂井町全体のなかでの目標をどのように持っていくか、という形になる。	東
-	テーマ別戦略の体系における KGI	第5次総合計画の自主防災組織率の目標が 100%に対して、現状が 86.8%となっているが、未達成の部分はどなたが責任を負うのか。目標に届かない分をどの課がどのようにやっていくのかを具体的に示さないと何も進まない。観光にしても、バックアップもなく、予算も人材も乏しいなかでまちづくり協議会にやれと言われても辛いところがある。 自主防災組織率を誰が 100%にするのか、どのようにお考えか。	やれ、やれ、というだけで何も支援がないという部分に関しては、またご意見をいただきながら、やれる支援、一緒にやっていくという切り替えの意識も必要なので、色々なお話のなかで進めていかなければならないと思う。 足りない部分については、より厳密に、毎年 PDCA サイクルを回していく。チェックをかけて反省をして、さらに次の改良点を見出していくという取り組みになると思う。 責任と言われると辛いところがあるので、なんとか頑張っていくとお答えするしかない。数字を上げていく、改善していくという意識を持つということが PDCA サイクルを回していくひとつの大きな意味だと思うのでしっかり取り組んでいきたい。	東
-	テーマ別戦略における KGI	KGIやKPIIについて、全部で何項目あって、どういう基準で毎年、5年後等に見直しをしているのかが知りたい。	数値については1年で見直せるものもあれば、数年たってから見直すものもある。特にアンケートの集計によって出せる数値は毎年アンケートをするというわけにもいかないのでは数年に1回の見直しとなる。KPIIの指標についてはまだ作成中で全て出揃っていない。	宮代
-	テーマ別戦略における KGI	テーマ別体系における KGI の一覧とあるが、第 5 次計画の結果は把握しているのか。また、100 パーセントになるのがいちばんだが、だいたい何パーセントにいつなるのか、どのようなものをついたらオーライなのか、初めに決めていただきたい。	KGI 一覧については、このようにやっていきたいと示したものだ。実際の計画策定時には初期値や現状と目標数値を並べて書く形になる。第 5 次計画は来年 3 月まであるので、また改めて住民の皆さんを交えながら総括していきたい。それを引き継いで第 6 次計画の初期値・目標値を入れていく。	表佐

-	テーマ別戦略	テーマ別戦略について、具体的に何をやるのかが分からない。「努力します」「強化します」「対策します」「推進します」などと書いてあるだけで曖昧なものが多い。	具体的な内容について明記していないことについては、今いただいたご意見を参考にしてこれから各課で組織別行動計画を作っていく際に検討していきたい。	栗原
3	垂井町の将来像	“ひと”と“まち”について、ひらがな表記と漢字表記が見られるが、どのような考えで分類されているのか。	“ひと”も“まち”も当てはまる漢字がたくさんあると思う。それらをすべて含めた、幅広い意味合いを持った“ひと”と“まち”でありたいという思いが込められている。他にも人材と書く部分を人財と記載しているなど、ひらがなや特殊な漢字を使っているところはそういった思いがあると読んでいただけるとありがたい。	垂井
3	垂井町の将来像	「住民、議会、行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら」とあるが、それぞれの役割と責任とは具体的に何を指すのか。垂井地区は、前に住んでいた地域に比べて住民の意識が低いように感じる。どのような役割と責任があるのか、住民にもわかるようにきちんと文章化し、明確にさせていただけるとありがたい。	ベースになっているまちづくり基本条例では、第4章から第6章にかけて、住民・議会・行政とはなにか、ということを謳っている。垂井町に関わる人すべてを住民として捉え、責務等も記載している。まちづくり基本条例の意識を定着させていくための取り組みもしっかり行っていきたい。	垂井
3	垂井町の将来像	「人口減少に挑戦し」という表現があるが、もう少し説明が必要ではないか。人口減少問題に挑戦、などの意味合いが必要なのではないか。	人口減少を抑制していく部分と、人口減少に対応していく部分を含めて「挑戦」という表現になっている。問題という言葉も含めて、これから向かっていく人口減少という社会そのものに挑戦をしていく、人口減少をいかに抑制し、いかに住みやすいまちを作っていくか、という意味も集約して「人口減少に挑戦」という言葉にした。手直しをするにも少し検討させていただきたい。	垂井

3	垂井町の将来像	説明資料の2ページ目と計画書案の3ページ目は同じ内容だと思うが、説明資料の「これまでの全国画一的な～」と言う文章は計画書案には無い。この部分はとても重要だと思うのだが、垂井町のらしさ、特色といったものは計画書案のどこに書いてあるのか。また、この計画書は10年計画という事だが、これまでと何が変わるのか、どう変わっていかうとしていくのかを具体的に教えてほしい。	垂井町のらしさについては、自然や交通の優位性といったものがあるので、それらを活かした土地利用計画、都市計画の見直しなども考えている。どうしてもビジョンと構成の部分は相対的な表現になってしまうので、こういった内容を入れた方がいい等の意見があれば教えてほしい。	宮代
3	垂井町の将来像	垂井町が目指す10年後の姿というのがあまりにも総花的すぎる。	総花的というのはやむを得ないところがあると思う。これが織り込んでいなかった、などということがないように必要なことだと思う。	岩手
3	垂井町の将来像	国が総合計画策定を義務付けていないなかであえて作るのならば、垂井町としてのひとつの方向性というものが必要ではないか。この部分では1位を目指す、というような指標が必要では。資料には、住民が自らの手でまちの未来を切り開く、とあるが、行政はこうしていく、という迫力が見られない。	私はこれからの10年、まちを作っていくなかで大事なものは地域力だと思っている。大きな災害・事故もあり、生き方が大きく変わってきていると思う。豊かさというものが量から質に変わってきているなかで、例えば見守り活動など、地域の関わりを強くしていく必要がある。限られた財源のなかで質を求めていくために、この総合計画内で裁量していくことになる。人口減少が進むなかで、どのように相互扶助を行っていくかを考えるための計画にしたい。総合計画というものは全庁にわたる政策を謳いこむ、という大前提があるのではないかと思う。	岩手
4	将来の目標人口	「2030年までに、合計特殊出生率を1.8まで上昇させ」とあるが、すごい施策を打たないと上がらないのではないか。	決して無理な数字ではないと思う。全国的にみると、今現在合計特殊出生率が2を超えているところが出てきている。岐阜県も1.8を掲げているので、県と連動しながら取り組むことになると思う。	東
5	施策の大綱	施策の大綱とはなにか。	テーマ別戦略が施策の大綱ごとに行っている。例えば1の協働でいえば、「まち全体が活発でみんなで育む幸福度の高いまち」となっている。	岩手

11	将来の都市構造	<p>将来の都市構想、の「将来」とはいつのことなのか。第5次総合計画と内容が同じだとすると、第5次総合計画の構想があまり達成できていないということになるが。</p>	<p>「将来」とはもちろん10年後を指しているが、10年で計画が全てできるとは限らない。国道の問題であれば国、県道なら県の所管であり、それぞれと協議をしていかなければならないので、時間がかかる部分もある。</p> <p>例えば、国道4車線化については、一度都市計画が廃止になったが、復活させたいと考えている。これは廃止された時点から取り組んでおり、現在も続いている。ここで謳ってある姿は10年後の大まかな概略であり、10年で全てできるわけではなく、10年後も計画をさらに進めていくことになる。</p>	東
11	将来の都市構造	<p>綾戸地区が商業集積ゾーンになっている。いま綾戸の東側に市街化調整区域があるが、それは市街化区域にするという構想なのか、絵の上では大まかに描いてあるだけなのか。</p>	<p>東浦あたりが農地として残っており、ここをどうするかというのは今も大きな課題となっている。垂井町都市計画において、市街化区域と市街化調整区域とがあるなかで、東海道線の新垂井線の北側は無指定という形になっているが今後どうしていくか。「3-1 土地利用」で都市計画の見直しなどを検討していく。</p> <p>コミュニティの維持と土地の有効利用を目的として市街化を抑制している市街化調整区域についても、見直してほしいという意見も出ている。ただ、大垣都市計画区域というのは、大垣市と垂井町、神戸町、安八町の1市3町で形成されているので、広域のつながりを考えたうえでの見直しとなる。将来を考えると強く言っていかなければ変わっていかない状況もあるので、そこを見越して都市計画見直しを進めていきたい。東浦のあたりがすぐに市街化になるかはここではお約束できないが、将来的に変わっていくべきところではあると思っている。</p>	東

11	将来の都市構造	将来の都市構造はどなたが認定しているのか。町が作って議会で承認されているということか。また、綾戸地区は商業集積ゾーンになっているが、10年間でそのための取り組みがあったのか。東浦の市街化調整区域になっているところは、企業を誘致して10年間で商業を活発にするぞという意気込みでないのなら、農地として残しておくべきではないか。	将来の都市構造は議会で承認を受けていく。 綾戸地区に関しては、様々な調整が入ってくるので、この10年でできるかどうかは確定ではないが、このような方向で進めていきたいと描いている。現状を踏まえたくて、貴重な意見として参考にさせていただく。	東
11	将来の都市構造	昔、円興寺トンネルから綾戸口の方へ道路を引っ張るという計画を聞いた覚えがあるが、第6次総合計画期間内に完成するのか。いまは東海環状に費用がいつているので難しいが、それが終われば順番が回ってくるのか。	1市3町で行う大垣都市計画に上がっており、大垣市が主体として引っ張っていく形になると思うので、そのなかで対応していく。	東
11	将来の都市構造	垂井町の中で、今後の人口減少率が最も高いのが栗原だと思う。理由は新しくこの地に来た人が住める所、帰る所が無いので人口はまず増えない。外部から工場などが誘致されてもほとんどが自動化されているし、栗原の人は雇用されていない。栗原の人が住んで働けるようにしていきたい。また、今度スマートインターができることで名古屋から30~40分で来ることができるのは非常に魅力的だと思うので、もっと栗原も含めた垂井町を宣伝して行ってもらえればと思う。	都市計画では栗原地区が市街化調整区域となっており、市街化を抑制して農地を守っていくということなので、家が建ちにくいという状況がある。しかし調整区域の中でも農家住宅や借家などを活用する優良田園住宅などのやり方もあるので、そういったことを考えていく必要がある。栗原だけでなく垂井町全体でバランスを取って地域を支えていくために、ここに住む人が生活を維持できる、あるいは活力を持っていけるように住みやすさを作っていくことが大事。	栗原
14	総合計画の構成	行動計画の実施内容はこれから具体的に詰められるのか。	具体的な事業については職員がつくっていく。	岩手
15	総合計画の期間	この計画は5年や10年で見直すということだが、どの項目を何年でやり遂げるといった目標を明確にしたほうがいいのではないか。	戦略は基本的に10年を目標にしており、5年の間にそれが本当に必要なのか等の見直しを行い、もしくは数値の変更の検討などをしていくといった形を取っている。	宮代
15	総合計画の期間	第6次計画は何年度から実施されるのか。	平成30年度(2018年)からの10年間だ。テーマ別戦略に関しては5年後に見直し、また各組織で作っている行動計画については毎年見直しをしながら進捗管理をしていく。	岩手

16	総合計画の進捗管理	<p>将来ビジョンに向けて具体的にどうしていくのか、が住民としていちばん知りたい部分である。それについてはどのように住民に示していくのか。アンケートの実施やこのような会を再び開催することを考えているのか。</p> <p>また、まちづくりは行政だけでなく、住民・議会・行政が一体となって行っていくことが大切ではないのか。</p>	<p>今後もふれあいトークを開催して、定期的に住民との情報共有の場を設けていく。なぜなら、まちづくり基本条例のなかに、「住民は町政について認識を深めるよう努めます」「行政はこの条例の基本理念に基づき住民の意思を反映したまちづくりを進めます」と記載があり、そのために行政は積極的に住民と情報共有をしていく必要があるからだ。また、まちづくりについて情報を得ながら、行政ができること、住民と共に行った方が効率的なこと、行政はバックアップに回り、住民に先導を切ってもらった方が効果の期待できるもの等を、ふれあいトークの場等で実現していきたい。</p>	垂井
			<p>戦略の下の戦術を作っていくうえで住民から意見をいただくことが必要となってくる。審議会の方でも話が出たが、PDCA サイクルを住民と一緒に回していくことを考えていかなければならない。今後、評価・改善に住民が関わる場を作っていく。</p>	垂井
			<p>計画案 26 ページ「1-1 協働」で、住民と行政と議会が協働してやっていくまちづくりを示しており、これは第 6 次計画の全項目と関連しているという考え方で進めている。</p>	垂井
16	総合計画の進捗管理	<p>PDCA の取り組み方に関しては、企業の経営者などは随分前からやっている。指標の作り方や戦略に合う戦術がきちんと作られるのかなど、非常に気になる。住民の意見を聞いたり、戦略や指標の設定に関しては、そのあたりに明るい人のアドバイスを取り入れたりすると思う。行政のなかで固まっていると民間の考えとずれてしまうので、すり合わせができるように戦術の見直しの際に民間の知恵をうまく利用してもらえればもっといいものになると思う。</p>	-	垂井
16	総合計画の進捗管理	<p>計画が達成できなかった場合、責任ではないが、どのような動きで、どうしてこうなったのかという話は計画内に必要ないのか。</p>	<p>戦略の部分は 5 年に 1 回見直して、目指す姿から離れていく、やっても無駄である場合は切り替えて作り直していく。組織別行動計画に関しては毎年 PDCA によって少しずつ修正をしていく。</p>	垂井

18	人口 フレーム	<p>数字の差の根拠が分からない。また、前年比をみていくと、社人研の方は差が年々大きくなっていくが、垂井町の方は差が大きくなったり小さくなったりしている。小さくなっている部分というのは、ニュータウンをつくるなどの計画があるのか。この計画を全て行えば人口減少に歯止めがかかり、この数字になる、という根拠が分からないのだが。</p>	<p>緑の数値は国立社会保障・人口問題研究所がコーホート法に基づいて人口推計をしたもので、これでいくと2060年には17,297人まで減ってしまう。よって、出生率を上げたり、働く場を作って外から人を呼び込んだりすることにより、人口を増やしていく。赤い数値はあくまで目標数値。企業を誘致すれば何人増える、と具体的な数値や根拠は示せないが、様々な手を打って、自然増加や社会増加を目指していきたい。</p>	垂井
18	人口 フレーム	<p>垂井地区の現状からどのようにフィードバックしていただけるのかお伺いしたい。</p> <p>垂井地区に21年以上住んでいる方が75%となっている。また、2025年には75歳以上が7人に1人、65歳以上が3人に1人という社会になる。それに基づいて、少子化でありながら、子ども、孫世代まで継承できるような夢のあるビジョンを第6次計画には入れていってほしい。</p>	<p>2025年は団塊世代が全て後期高齢者になる年で、そこをピークとして減っていくという予測もある。しかし出生数が増えれば基本的には人口は減っていく。仮に今合計特殊出生率が2.07を超えたとしても、その子どもたちが子どもを産むには20年30年かかる。その間は間違いなく人口減少社会なので、そのなかでどうやって支え合っていくのか。先ほど出た成熟・安定というのは、言い方は悪いが、いまあるものを使い倒す、お年寄りを使い倒す、ということ。そういう社会がこれから10年20年続くのではないかと思う。</p>	垂井
18	人口 フレーム	<p>人口減少対策として具体的に何を考えているのか、お伺いしたい。</p>	<p>合計特殊出生率が2.07を超さなければ人口は増えていかない。人口減少のスピードを抑えていくなかで、住みやすさをつくっていききたい。「5-1 子育て」部分は人口増・出生数増には大きな意味合いを持つ。人口を増やすという視点では「4-1 工業」で働く場をつくること、「4-3 観光」で賑わいをつくるのが大事だと思っている。そういったことを複合してやっていって、初めて人口減の対策になっていくのではないかと思う。</p> <p>しかし、日本の人口が減っていくことは間違いなく、60年後には8,000万人ほどになるのではという見立てもある。人口が減っても今の生活を維持できるようなまち・国ということも考えていかなければならない。人口減少に対応するまちづくりを様々な計画のなかで実行していきたい。</p>	東

18	人口 フレーム	<p>生産年齢人口の指標をポイントに、これから先のことを考えていただきたい。高齢者が増え、子どもと生産年齢人口が減ってしまったらまちとして非常に最悪である。とにかく働く人が増えなければ財政的にも問題である。この指標をどのように取り入れていただけるのか。</p>	<p>生産年齢人口というのは15-64歳、65歳以上が高齢人口、14歳以下が若年層となっている。2025年までは高齢者の割合が間違いなく増えていき、そこをピークに横這いになっていくと思う。理想は生産年齢人口を増やしていくということだが、実際65歳から74歳までは本当に老人なのかと。あくまで指標の話だが、高齢者に含まれていても、実際は生産年齢人口としてカウントできる気がする。高齢者を排除するのではなく、高齢者を大事にしていかなければならないと思う。要はバランスで、子育て支援等で、次代の生産年齢人口である若年層も増やしながらか、総合的にやっていかなければならないと思う。</p>	東
18	人口 フレーム	<p>人口増加への対策はどのように考えているか。</p>	<p>日本全体として、ここ10年20年では人口増加は無理だと考える。一方に人口が集中すれば、その地域では人口増加するが、出て行った地域は過疎になる。人口が減っても安心して暮らせる町を作りたいし、人口が減っていくスピードを遅らせたい。そのためには人を呼び込んだり出生数を増やす必要がある。以前ナブテスコの工場が岩国からここに来た時に、岩国で働いていた人が移住してきて定住し、人口が増えた。現在は南の方で拡張工事が始まっており、ここで新たに雇用が生まれるので、これについても人の動きが出てくると考える。離山のほうでも2、3社検討している所があるので、そういった形で町を活性化したい。また、子どもの育てやすさやお金をかけなくてもできることなど、垂井町らしさを活かしたきめ細かな子育て支援や働きに来る人への支援を推進していく。</p>	府中
28	1-1 協働	<p>町に住んでいる人と町の職員との交流が少ないのもっと交流できる施策を作ってほしい。</p>	<p>職員と町民の情報の共有は必要なことで、職員が情報を出し、町民がそれに興味を持つことで交流が生まれる。協働の在り方でもあるので前向きに検討する。</p>	宮代

31	2-1 防災 ・減災	<p>東地区は 21 自治会中 8 自治会で防災組織化されていないことがわかった。毎年行政から防災に関して前年度の実績と今年度の計画提出を求められる。そのなかで未組織化の自治会が残っているということは、行政は提出だけ求めて、その後のフォローをしていないということになる。それでは防災意識が上がっていかない。今年度東地区が防災訓練地域になったので、組織化するよう自治会長に働きかけた。垂井町全体で考えたとき組織化されていないところがまだあるように思う。そこに対しての取り組みを第 6 次計画に織り込んでほしい。</p>	<p>KPI で自主防災組織率などが数字として上がってくると思う。現在の自主防災組織率が 86.8%。複数の自治会でひとつの組織を作っているところもある。この割合を上げていくための支援や情報提供に引き続き取り組んでいきたい。</p>	東
29	2-1 防災 ・減災	<p>対応する災害のなかに放射能汚染もぜひ加えていただきたい。役場の方で定期的な測定・結果の公表など、監視体制を取っていることは伝わっているが、ある民間の調査で、福井県で原発事故が起きた場合、最速 23 分で垂井町に汚染物質が届くという結果も出ている。また、もんじゅの廃炉作業で万が一事故が起きた場合、甚大な被害が想定される。垂井町として、放射能汚染対策にこんなことを考えている、というのを加えてほしい。</p>	<p>防災計画で原子力対応というものを謳っている。この西濃圏域でも訓練等必要になってくる場合が考えられるので、上位の計画ともすり合わせながら、防災計画のなかでしっかり対応をしていきたい。</p>	表佐
31	2-1 防災 ・減災	<p>河川等の水害対策については、これからどのように考えていくのか。</p>	<p>栗原地区でも同様の指摘があり、計画に盛り込もうと考えている。具体的に言うと、相川の堤防の補強をしっかりとやっていく。南部の泥川については排水樋門ができたので、今のところ遡上は止めることができる。先日の台風 21 号で、もし樋門がなければより大きな被害につながる可能性がなかった。しかしあのまま雨が降り続ければ堤防が耐え切れず内水が溢れてしまうので、排水機場をつくることを県と協議している。経路やどこに流すかなど広域で考えていかなければならない。河川については計画に盛り込んでいきたいが、部分的な細かい点については実際の動きのなかで対応していく。</p>	表佐

31	2-1 防災・減 災	<p>毎年の自治会からの一番の要望が水害対策で、第6次総合計画において何か実現できるのかと思ったが一言も記載されていない。栗原の水害対策をどうするのが表に出てこないにも関わらず、計画書の「2 安全・安心」の部分では大きな課題であると書かれている。他の自治体ではこれをやりますと具体的な内容が書かれているのに栗原のことは計画には書かれていない。もったいなく書き込むべきではないか。</p>	<p>河川の管理や河川の改修については都市基盤の部分で語るのか、防災のところで語るのか議論してきた。実際、戦術に関しては、河川は防災・減災に入れるということで事務方では考えていたが、基本構想やテーマ別戦略では、何の記述もされていないということで、今回案を示させてもらった計画案に対する貴重なご意見として検討していきたい。</p> <p>泥川と限定するのではなく、河川の水害対策として全体として記述していく必要があると考えている。</p>	栗原
35	3-1 土地 利用	<p>庁舎跡地について、歴史を訪ねて中山道を訪れた方がそこへ行けば垂井町の街道や湊のことが学べるセンターにするというのはいかがか。もしくは、垂井町の昔から続いている祭りについてわかるような施設にしては。できれば各地区でそれを担っている方が集まって交流ができるような施設だとよいと思う。</p>	<p>財政のしほりもあるのであれもこれもとはいかないが、おおまかな集約ができるような形のものにしていかなければならない。お祭り関係の意見はたくさん出ている。各地区の祭りをそれぞれどのように傳承していくか。特に表佐の場合は太鼓、囃子がひとつの財産なので、地域がつながる大事な祭りをぜひ繼承していただきたい。そのための支援についても考えていくべきだと思う。</p>	表佐
35	3-1 土地利 用	<p>これまでの整備の見直しなどは考えていないのか。</p>	<p>「3-1 土地利用」の所に、都市計画などの見直しの検討を行うと記載してある。栗原は市街化調整区域ということで、他の地区より人口の減少が著しい地区という大きな課題を抱えている。その中で地域のコミュニティを維持していくという観点から様々な手法を考えたのち、都市計画の見直しあるいは今後増えてくる空き家などに対する施策に取り組んでいく。</p>	栗原
35	3-1 土地利 用	<p>庁舎を移設することだが、跡地はどうするのか。また、駐車場は現状のままなのか。あの敷地内に入るのか。文化会館で大きな行事があった場合、駐車数は足りるのか。</p>	<p>庁舎の跡地については、これまでに住民の意見なども聞いてきたので、新たにあり方検討委員会を作り話し合っていく。中山道という文化的な遺産もあるので、こういったものを繼承して人が集まるように考えている。駐車場については文化会館の西あたりも使えないかと検討している。詳しい駐車数などはまだ発表できる段階ではない。万が一、文化会館の行事等で駐車場が足</p>	栗原

			りなくなった場合は河川敷を一時利用するなど考えている。	
35	3-1 土地利 用	旧庁舎跡地の話が出ているが、災害・減災を考えた時に、旧庁舎跡地を避難するための公園などにしたらどうか。	跡地利用に関しては庁舎のあり方検討委員会を開いて、その中で検討していく。公園にするという案も出ているし、会議の場を作るという意見もある。色々な意見がまだ出てくると思うが、今後も住民と話し合っ て検討していきたい。もちろん今いただいた意見も参考にする。	府中
35	3-1 土地 利用	町庁舎跡地の活用方法は。ワークショップでは駐車場もあるので、物産展などを開催すればいいのではという話も出ていたが。	庁舎の跡地については、住民も含めた様々な方から意見を頂き、吸い上げる段階だった。今後は実際どうしていくのかという計画づくりの段階に移っていき たい。新年度あたりから、庁舎のあり方検討委員会のようなものを設置して、具体的な計画を検討していきたい。物産を扱えるような施設、防災拠点など様々な考え方が あるので、これから考えていきたい。	岩手
36	3-2 道路	道路は必要最低限でいい。道路が増えれば事故も増えるし環境も悪くなる。高速道路が造られたとして、入ってくる人が多いか というと、出ていく人の方が多い。	栗原地区のみであればそれでいいかもしれないが、企業や道路は垂井町そのものを支えるものであると考えている。企業をつくっていき、道路の整備を進めることで住みやすさが出てくる。周囲とつながって いく事で発展していき、人口増加につながっていくので、今後も進めていきたいと思っ ている。	栗原
45	4-1 工業	工場はいらない。工場を建てている場所に住宅を建てればそこに住む人が入ってくるので良かったのでは。		栗原

36	3-2 道路	<p>昔、現在の大垣信用金庫の前の交差点の右折対応をしてもらいたいという要望があったが、その時に地下道を壊すことによって東西に関しては右折対応してもらえた。最近はおオキとか薬局が出来たことで南北の交通が滞るようになったので何とかしてほしい。</p>	<p>東西の道路については、かつて地下の横断歩道があった所をつぶして少し道幅を広げ、右折対応とまではいかなかったが、右折車と直進車が並べるような状態にした。南北の道路は県道になるので、改修については県が主体でやっていくという話になっている。先週養老インターがオープンしたが、来年の6月に養老SAのスマートインターチェンジができる。そうすると必然的に県道が主要なアクセス道路になってくる。当初、町としては道路を4車線にするよう要望していたが、県の調査の結果、4車線にするほどの交通量が認められなかった。ただ、ナブテスコも南側で拡張工事しており、今後も200人～250人の雇用が出てくる可能性もあるので、その辺りの通勤が混雑することが予想される。県道については主要交差点の右折対応をしっかりとつけてほしいという要望に切り替えている。その中で、先ほどの話に合った流の交差点についても右折対応を要望する良い機会だと思うので要望していきたいと思う。もう一つよく言われるのが文化会館と西側の交差点だが、あそこも北側からきて右折する車があると橋の上で止まってしまうという状況なのでなんとかしたいが、橋を架けかえないと何ともならないのでどうしようか悩んでいる。このことも合わせて要望として掛け合っていく。</p>	府中
----	-----------	--	--	----

37	3-3 地域公共交通	JRについて、大垣駅に行くまでは15分間隔で電車があるが、西の方へ行くには30分に1本しかない。なおかつ、岐阜の方から来る人は、階段を上ってホームを変えて西の方に行く。高齢化が進むと、乗り換えができないから行かないという人もいます。	「3-3 地域公共交通」において、大垣駅で乗り継ぐことなくJR垂井駅で乗降車できる列車の本数を記載している。通勤時間帯に関しては垂井から乗り継ぎなしで名古屋に行けるようになっているが、日中は大垣から乗り継ぎが必要になっている。階段などについてJRに要望を出してはいるが、これを実現するためには大垣駅の構造を変えなければいけないため、莫大な費用が掛かると言われている。JRに要望するよりも効果的なのは利用者数が多いことなので、乗る人が多くなれば、意見も言いやすくなる。利便性を上げるという事は今後非常に重要になることなので、今後もJRに掛け合っていく。	府中
39	3-5 空き家等対策	空き家は業者に売るのが町が有効活用するのか。有効活用とはどのように使うことなのか。	空き家については、老朽化した空き家をどうするかということと、外から来る人や新たに住みなおすためにどうするかという、大きく分けて2つの問題がある。まず所有者に安全な状態でどのくらい保たれているか確認を進めている。また、昨年、空き家を持っている人に対してアンケートを行い、回答者に対して空き家相談の案内をした。今回の計画では、所有者に空き家をどうしたいか聞いたうえで空き家バンクに登録をしてもらって、空き家を必要とする人とのマッチングをしていく事を考えている。なるべく早いうちに空き家バンクに登録できる制度を実現化していきたい。	府中

41	3-7 下水道	<p>汚水処理施設の整備手法を再検討し、効率的に進めるとあるが、接続されていない所は何%あるのか。早く100%にしてほしい。</p>	<p>67%ぐらい。順々に工事を進めているが、莫大な費用が必要となるため、どうしても制限される。一般会計から3億から4億ぐらい出ているが、これを毎年続けてもらえるかという点で厳しい。大元は垂井町全域を公共下水にするという計画でスタートしている。水環境がよく安心して生活できることを目標とするのならば、やり方として、公共下水だけでなく農業集落排水、個別合併浄化槽も考えられるが、何が何でも公共下水にしなければ水環境を守れないのかという部分から全体的な計画の見直しをしないとイケない。また、地域ごとの公平性を保つために、補助制度等をつくっていかねばイケない。</p>	栗原
41	3-7 下水道	<p>下水道について、費用対効果を見直していくべきではないか。</p>	<p>下水に関しては、毎年一般会計から4億円前後投入しながら進めている。大きな計画としては垂井町全域公共下水ということで取り組んでいるが、これを実現しようとするとこれからまた何十年と時間がかかる。一方で、昔は単独浄化槽だったが、今は合併浄化槽になっており、目指す所を水の浄化という点で考えるならば合併浄化槽でも十分機能する。しかし、既に切り替えた所とそうでない所があり不平等なため、その辺りをどうしていくかが課題となる。水の浄化としては、公共下水だけでなく集落排水、合併浄化槽が考えられる。これらをうまく組み合わせながら出費をなるべく抑えられるよう全体的な計画を見直す時期にきている。</p>	府中

41	3-7 下水道	<p>北部の下水道が整えられるまで、下手するとあと20年くらいかかる。どのようになっているのか。</p>	<p>下水については時間がかかっている状況だが、毎年一般会計から4億円前後投入しながら進めている。垂井町全域公共下水道ということで取り組んでいるが、水環境がよく安心して生活できることを目標とするのならば、やり方として、公共下水道だけでなく集落排水、個別浄化槽も考えられる。全体的な計画の見直しを行う時期にきている。また、地域ごとの公平性を保つために、補助制度等をつくっていかねばいけない。</p>	岩手
43	3-8 環境	<p>表佐にあるクリーンセンターについて、そろそろ耐用年数に達するので、建て替えの時期に入るのである。莫大な費用がかかることが予想されるが、町としてはどのように考えているのか。できれば費用があまりかからず、環境に配慮した施設であってほしい。</p>	<p>あと8,9年の寿命を少しでも延命化し、かかる費用を抑えていきたい。いまの国の制度では、町単独で建て替えを行う場合は補助金が下りない状況なので、やるとすれば広域。町単独だと持ち出しがかなり大きくなる。町単独・広域どちらにするかはこれから検討していく。広域の場合は相手がいることなので、今ここで明言はできない。水面下での調整が必要。また、単独でやっていくメリットもある。飛騨市は雪が多い地域なので、自前で持っていることで安全性を確保できたと聞いたことがある。しかし、財源のことを踏まえると広域で考えざるを得ない部分もある。今後10年の間に方向性を出していく。</p>	表佐
42	3-8 環境	<p>不法投棄については役場の方でドローンやIOTを利用するなどしてほしい。</p>	<p>不法投棄に関してはこちらも困っているが、それを行っている業者が判明すれば罰金1,000万円と禁固刑が課せられると法で決められているので、警察とタイアップして対策していく。現在も監視を委託して行っている。発見した人は写真を撮るなどして役場に知らせてほしい。IOTはやっていかねばいけないことなので、記載などはしていないがいずれ導入する。</p>	栗原
44	4 産業・交流	<p>「4 産業・交流」という項目があるが、別に「観光交流」という項目を設けた方がいいのではないかと。</p>	<p>交流というのは観光に特化するわけではなく、様々な意味での交流を考えていきたいと思っている。観光については「4-3 観光」の中で考えていく。</p>	宮代

45	4-1 工業	離山の開発についてはどうなっているのか。	年内には農地の買収の交渉をしていきたいと考えており、来年の春ごろから工事に取りかかる。今の状況ではいちばん北の方の地点を起点にしてフラットな状況を作っていく。主要交差点を作り、2方向から出ていく形の道を作る予定。	府中
47	4-3 観光	役場移転後のまちづくりについて、観光協会の事務所をこの垂井地区のどこかに設けたいと考えている。そのためには観光協会の自立が必要。観光で垂井に来る人はJRと中山道と観光バスに分かれる。中山道沿いに観光協会の事務所を設けることで、機能が果たせるのではないかと考えている。それによって地区のまちづくりの一役を担えれば良いと個人的には考えている。	<p>観光について、観光協会に押し付けるのではなく、協会が自立するための支援をしていかなければならない。</p> <p>観光によって自分たちが潤う、儲けがあるという状態にしていかないと、続かないと思う。来て、お金を使う場所があること、泊まる必要がある。食べ物屋さんやお土産屋さん、あるいは泊まる場所が必要なので、そのあたりをしっかりとリードしてほしいという意見もいただいている。民間企業に対する支援を観光協会と手を携えてやっていく必要があると思う。</p> <p>一方で、地域の方から「通行止めや制約があるから、祭りなんてかなわん」という意見をいただいた。観光をやっていくにはそこに住む人にしっかりと受け入れていただくことが大前提になる。</p>	垂井
47	4-3 観光	なぜ祭りをやるのか、周りに対してきちんとした説明がなされていないなど、問題があると感じている。少し時間はかかると思うが、祭りと地区の住民との関わりは、祭典委員長である私の最大のテーマと認識している。	観光の地域での受け入れというのは非常に大きな課題だと思う。垂井だけに限らず、観光客に対して不満を持っている住民はいると思う。そういう人とふれあうことで観光客に不快な思いをさせてしまうので、観光客をもてなす意識を広めていかなければならない。	垂井

47	4-3 観光	<p>全国的に知名度の高い関ヶ原の合戦だが、実際に合戦が行われた場所を考えると垂井も含まれている。県が何十億と投資したことで、観光客が増えることが予想される。垂井は関ヶ原とどのような形で観光を進めていくのか。垂井は蚊帳の外なのか、それとも一緒になってやってもらえるのか。</p>	<p>関ヶ原だけでなく、広域的に関ヶ原に関わるすべてが潤うための県の投入だと思っている。県は50億ほどをかけてビジターセンターをつくろうとしている。関ヶ原、垂井、大垣という関ヶ原合戦の舞台を売り込まない手はないと思っている。関ヶ原に訪れた人を誘客するための観光案内に加えて、訪れたいくなるよう誘導していかなければならない。そのためには関ヶ原・大垣の連携が必要。また、新たなインターチェンジができることによって、観光客が利用しやすくなるので、それも使っていかなければいけない。</p> <p>6,7年前から知事は関ヶ原のことを話していた。西濃の中の関ヶ原をしっかり売り出すことによって、地域の観光の活性化に繋げていきたい、という考えがその頃からあったのだと思う。関ヶ原町長とは協力をし合える状態なので、その関係もうまく使っていきたい。</p>	垂井
47	4-3 観光	<p>先ほど観光入込客数が減少したという話が出ていたが、歩いて観光している人に聞いたら、食べる場所・休憩する場所がないと言っていた。食べる場所が増えると観光客も増えると思うので、町の主導で改善してもらいたい。</p>	<p>観光をやろうと思ったら食べる場所・買うところ・泊まる場所が必要。泊まる場所がいちばん欲しいと考えている。</p> <p>軍師官兵衛の放送時、岩手の商工会が半年間店を出していたが、一時的なもので続かなかった。商売というのは、行政が直接手を出すのは非常に難しい部分なので、商工会等と連携していく。改修費などの補助は出せるが、行政が事業を続けていくことはまず無理なので、そのあたりは協働が発揮される部分ではないかと思う。</p> <p>ホテルの誘致に関しては行政が情報を出しながら色々なところに働きかけをしていく必要がある。県が関ヶ原に力を入れている今、広域で人を回していくなかで拠点として近辺に泊まることできればと思うので、そのあたりを膨らませていきたい。</p>	東

47	4-3 観光	<p>通り過ぎていくだけの車を垂井町に止めて、お金を落としてもらうことを考えていかなければならない。食事をするとろさえないから人が来ない、人が来ないから店も出せないという悪循環になっている。好循環に持っていかなければ。</p> <p>私の研究によれば、道の駅をベストなところに作ると、岐阜県トップクラスの集客数になる。調査研究をしてやらないとお金の無駄遣いになる。第5次総合計画を徹底的に検証しないと、成果が上がってこない。併せて先進事例も調査研究して物事を進めていかなければならない。</p>	<p>観光をやって潤う、儲からなければ続かないと思う。垂井町に滞留する部分をどんどん作っていくことが大切だと思う。</p>	東
47	4-3 観光	<p>観光について、交流人口を増やすという謳い文句だけでよいのか。地域が潤わなければどれだけ人が来たところで意味がない。率直に言うと、垂井町に宿泊しないことにはお金が落ちてこない。林業支援や企業誘致よりも、山林を活かした観光施設など、発想の転換が必要。垂井町だけに限定しない道の駅など、来た人たちが宿泊や消費をしてくれるような仕掛けを開発していく必要があるのではないか。</p>	<p>気持ちは同じで、垂井に欲しいのは宿泊施設だ。観光で金を生む、生活のプラスになっていく部分がないといけない。これまでそのような視点が抜けていたので、しっかり取り組んでいきたい。今回「7-3 タウンプロモーション」を計画に組み込んだ。まちの売り込みをしっかりと行い、生産性のある観光に繋げていきたい。</p>	岩手
50	5 福祉・健康	<p>子育て支援や高齢化の問題について、もっと正面から対応していくべきではないか。</p>	<p>この計画の目的は、「協働」というところをしっかりと作っていく所にある。子育てにしても出生数にしても、地域力や様々な団体など、地域で協力していくことが必要。仕事や生活をする上でも「協働」はあるので、今後、地域力を高めていくためにも「協働」というものが生きてくると考えている。</p>	宮代

51	5-1 子育て	<p>幼保一元化の推進について、今ある園を統合して、宮代と表佐で南園、府中と岩手で北園となるのではと予想しているが、地域ごとにこども園をつくってほしい。地域から子どもの声なくなるのは地域にとってマイナスになる。また、高齢者と子どもたちのふれあいの場がなくなってしまうと、地域のつながりが希薄になってしまう。子どもの最善の利益を考えて施策を行ってほしい。</p>	<p>現在東こども園、垂井こども園をつくっている。来年度からは、既存の園の建物を使いながら、3歳児から預かれる形で幼保一元化を全地区で進めていく。最終的にはこども園4園化の構想を持っているので、地域の方々の理解を得られるよう意見交換の場を設けていく。</p> <p>先ほど仰っていたが、子どもの利益を考えるのならば、小さいうちに色々な刺激を受けさせるべきでは。仲間内で固まっているだけでなく、より多くの子と関わるということがひとつの大事な要素ではないかと思う。そういった点で、幼保一元化によって子どもの利益が損なわれることはないと思う。</p> <p>地域との関わりについては、子どもと地域の方々が互いに出向いてふれあいの場を積極的に作ることは可能なので、基本的には現在の計画を進めていきたい。</p> <p>また、財政的な部分もある。現在垂井町には160の公共施設があるが、このままでというわけにもいかないの、統合・廃止・複合化などの考えを持ちながら公共施設等総合管理計画を作っている。私どもの思いとしては、地域コミュニティの核である小学校は絶対になくしたくないので、統廃合することはない。小学校区をしっかりと守りながら、子どもたちを育てていきたい。南部の宮代を表佐、北部の府中と岩手の方々と話をしながら計画を進めていきたい。</p>	表佐
----	------------	--	--	----

51	5-1 子育て	<p>人口減少によって園児が減ってきているが、今後幼保一元化に持っていくのか、それともこれまで通り幼稚園・保育園として扱っていくのか。</p>	<p>現在東こども園を、幼稚園と保育園が合体した施設として運営しており、また、垂井こども園も建設している。来年度より全ての幼稚園・保育園でこども園化を図っていく。親が預けやすい環境、安心して働きながら子どもたちが教育・保育を受けられる環境を作っていくことが子育て支援に繋がっていく。垂井町では将来4園のこども園の計画を立てている。地域の皆さんの理解がないと難しいので、説明会等で理解を求めていく。</p> <p>子どもの人数が減っていくなかで、少人数クラスで進級していくことが本当にいいことなのか。たくさん子どもと触れ合う機会を作ることは、子どもにとってプラスになると思う。少人数の小学校から大規模な中学校に進学することで、中1ショックが顕著に出てしまうこともある。子どもたちの健やかな学びの場を作っていくとともに、財政的にも幼稚園・保育園の集約を図っていきたい。</p>	岩手
53	5-2 高齢福祉	<p>家族が垂井町の介護老人ホームに入らず、垂井町で過ごしたくても池田町や大垣市に行っている。地元の人が優先的には入れたりはしないのか。また、定員などは把握しているのか。また、これから部屋を増やしたりはしないのか。</p>	<p>定員などについては、色々な所からチェックが入っているのでしっかり守られている。ただ、待っている人が圧倒的に多い状況で、部屋が空いていない。今後、介護医療についても要介護3以上でないと入所できないという状況になり、それぞれの自治体で面倒を見ることになっていこうが、西濃地域の福祉計画の中でのベッド数なども限られており、町で勝手に作っていいわけではない。また、新たに施設等を作っていく事で、それが介護保険料に跳ね返ってくる。その辺りのバランスをみながらやっているが、今後は在宅での介護に方針を切り替えていくという動きになってきている。面倒を見ている家族の負担が大きすぎる点については、地域の医療との連携、地域での施設との連携を考えていかなければいけない。福祉計画の見直しもしている。</p>	府中

60	6-3 生涯 学習	<p>テニスコートの利用料金に関して、垂井町は料金が一律になっている。大垣市の例をみると、市外から来た人は市民の倍の料金を払うことになっており、他の市町村でも市外町外の人の方が高くなっていると思う。</p> <p>最近テニスコートの改修が終わり、町外から利用する人が増えたため、税金を払っている町民の利用に制限がかかることがある。住民の満足度をあげるためにも、町外の人と料金に差をつけて、なるべく住民が利用しやすいようにしていただきたい。</p>	<p>利用料金や利用形態に関しては絶えず見直しをしていかなければいけないと思う。いただいたご意見は検討の課題とさせていただきます。</p> <p>行財政改革で利用料や補助は毎回見直しの対象となる。現在学校施設などは無料で貸し出しているが、他の市町村は有料となっている状況なので、そのあたりも手をつけていかなければと考えている。その場合は利用者の皆さんに対して、説明をしっかりとしていかなければならないと思っている。</p>	東
60	6-3 生涯 学習	<p>現在大垣市のテニスコートを使用している。垂井町は面貸しのため複数人で予約しなければならないが、大垣市では個人毎に年間定期券を発行しており、コートに行けば誰でもテニスができるので利用しやすい。市外者は倍料金だが、65歳以上は70%になるので年間15,000円弱。垂井町にももっと勉強していただいて、利用者が利用しやすいシステムにしていきたいと思います。</p>	<p>登録文化財については、町の教育委員会が認定した数のことを言っている。昔から垂井には豊かな文化財があるというが、実際どうなのか。町で認定した分はこれだけあって、今後はいくつ認定していきたいという努力目標も含めて記載している。</p>	表佐
61	6-4 文化	<p>「町の登録文化財の件数」とあるが、すぐに数値を上げることは可能なのか。</p>	<p>登録文化財については、町の教育委員会が認定した数のことを言っている。昔から垂井には豊かな文化財があるというが、実際どうなのか。町で認定した分はこれだけあって、今後はいくつ認定していきたいという努力目標も含めて記載している。</p>	表佐

61	6-4 文化	<p>史跡の保存と活用は難しい課題だと思いが、学びと交流の拠点施設を作れば活かすことができるのではないかと。府中は交通渋滞もなく、町外・県外からのアクセスも良い。垂井町の市街地のすぐそばに駐車場を作ること、観光客を市街地に呼び込み、中山道や曳山、桜のお祭りなどに貢献できる。学びという点では子どもから大人まで活用できる場になると思う。</p>	<p>美濃国府については平成19年に国の指定文化財指定を受けており、公有地化に向けて動いている。その先に学びと交流の拠点という位置づけになることは十分に考えられるし、府中の南から中山道沿いにつながるという意味では非常に重要な場所となる。国府が持っている文化の発信力を1つの素材とするのは、まちづくりの方向のひとつではあるが、その方向をどういう風にやっていくかはもっと詰めていかなければいけない。まずは基盤となる国府跡の整備をしっかりとっていく必要があり、その後はどうしていくかを詰めていくため、また意見をいただきたいと思っている。</p>	府中
61	6-4 文化	<p>国府に関連することだが、現在、町で簡単にできることがいくつかあると思う。なぜそれを手掛けないのか。例えば、新垂井駅の案内の標識が相川の北側の堤防にあった新垂井駅の案内標識が、新垂井駅が無くなったため、消してある。そこに国府跡への案内の標識を立てたりすることができると思う。ワークショップで意見を出してもそれが全く反映されていない。</p>	<p>国府跡についてはようやく公有地化に向けて動き出した段階のため、今の時点で標識案内を出しても入ることができない。それではかえってマイナスの要素になるので、国府跡の整備を確実に行った後にすべきと考えている。</p>	府中

63	7-1 行政 運営	クリーンセンターや防災のように、町 独自でやるには問題がある部分がある と思う。近隣市町村や県等、広域的に考 える項目があったほうがいいのでは。	本日配布した資料は概要版となってい る。現在インターネット等で公開している総 合計画案には行政運営の項目がある。そ のなかに、「スケールメリットを活かした政 策を展開するため、必要に応じ自治体の枠 を超えて広域的な視点から資源活用や課 題解決を図っていくことも重要です」とある ように、積極的に取り組んでいきたいと考 えている。	表佐
			公共施設等総合管理計画等を作るなか で、当然広域で取り組むべきものも出てく る。観光なども挙げられるのでは。現在県 は関ヶ原に大きく力を入れているが、合戦 が関ヶ原・垂井・大垣の広域で起こったこ と、垂井にも七つの武将の実績があること など、連携を取りながら観光にも取り組ん でいくことが必要。実際に西美濃広域にお ける観光について連携をしており、インバ ウンド客招致のための取り組みや町のつ ながりを深めていくための取り組みをさら に強化していく必要があると思う。	表佐
64	7-2 財政運 営	行財政運営に関して、第6次総合計 画において人口が減っていくことでどれ だけ財政が減っていくか、高齢化が進む ことによってどれぐらい税制を圧迫する かが指標になると思うが、そういったも のを計画書に位置付けることは可能 か。	今後の税収が減っていくシミュレーシ ョンができるかという、なかなか見通しがつ かない。今後、垂井町が財政の安定化を 図っていくには、税率の見直し、自主財源 の中でも使用料や手数料について検討し ていかなければいけない。こういったこと を含めて将来的な財政のシミュレーション を作成するのは非常に難しい。ただ、行政 としては重要な課題であると認識している。	宮代

64	7-2 財政運営	都市機能集積拠点と言われている部分について、そこにある文化会館などもそろそろ耐久性の問題なども出てきたりして今後、費用もかかってくるのではないかと。また、旧庁舎の南側の垂井町中央公民館もほぼ同時期に建てられていることを考えると、耐震性が危ういと思うので、そういった部分で費用がかさんでくるのではないかと。クリーンセンターについてもどのように展開していくかということで、ここでも費用がかかってくると思う。どこかで費用を抑えて使うべきところに使わなければいけないが、その点を今回の計画ではどのように考えているか。	現在、公共施設等総合管理計画を作成しており、この10年の間に単独でやっていくのか広域で処理していくのかを判断し、その中でやっていくことになる。	宮代
64	7-2 財政運営	垂井町出身者でふるさと納税をおさめている人の割合は分かるか。垂井町に愛情を持って納税する人の割合を計画書の目標値にできないか。	納税者の出身地についてはまでは把握していないため、その数値を目標値にすることは出来ない。しかし幼少期から垂井町に愛着を持った人材を育てる方向性で計画を立てている。	宮代
64	7-2 財政運営	現在の補助金行政を見直さず、予算の使い道が従来と同じで、具体的な施策をちょっと努力しようというだけの計画ならば、わざわざ総合計画という必要があるのか。	財源については、現在公共施設の総合管理計画を策定しようとしている。160の施設を統廃合・複合化・廃止・建て替え等どうしていくかを計画化することで、ハード面での予算がある程度拮据してくると思うので、健全な財政を行っていくためのベースにしていきたい。	岩手
65	7-3 タウンプロモーション	これを読んだ人が垂井町に住みたくなるような計画にしてほしい。何か目玉になるような内容があるといい。	今回、「7-3 タウンプロモーション」に移住・定住や観光振興と記載しているが、これだけではなくあらゆる面に置いて町の魅力を発信していくということを政策として打ち出している。これは第5次総合計画ではなかった部分で、これによって関心を持ってもらい、町外の人や垂井町から出て行った人を呼び込む計画を立てている。	栗原

65	7-3 タウン プロモ ーション	東大阪市の文化財課の主任と話を する機会があったが、その人は新垂井駅 へ来て何度も写真を撮っていると聞い た。なぜ来ているのかというと、文化財 関係の会議が大垣や岐阜であったとき に垂井に来て、そこから新垂井に行っ たそう。情報の発信については色々やり 方があるが、こういうやり方もあるのか と思った。役場の横にホールがあるが、 そういう所でちょっとした会議を開いて 県外の人に来てもらうという発信の仕 方もあると思う。	—	栗原
65	7-3 タウン プロモ ーション	垂井町のイメージアップなどの視点 が全くないが、どうするのか。	今回の計画ではタウンプロモーション の項目を設けており、垂井町の様々 な魅力を発信していく。例としては 名古屋や東京で物産展を行ったり、 最近では垂井ブランドのマークを 全国から公募し作りなおした。ま た、関ヶ原合戦の地ということで、 垂井も看板を作ったり、ホームページ でPRしている。	府中
-	その他	地元の自治会から町へ要望を上げて も全く通らず、検討中という見送られ てしまう。町会議員を出している地区 の要望は通るのにどうなっているのか 、という声もある。予算のこともあ るので難しい状況だが、町会議員の いる・いないに関わらず「住民ニ ーズを反映した」対応をお願いしたい。	財政の問題や全体のバランスを加味 しながら判断しているので、すぐ に対応できない部分もある。また、 生活の危険に直結するなど、緊急 度が高ければすぐに取り組まな ければならないが、反対に少し 我慢していただく部分も必要にな ってくるのではと思う。特にこれ から財政が厳しくなっていくな かで、100の要望が全て通ること はないので、そのなかで、やっ てもらうばかりでなく、一緒に やったらいいのか、と考える意 識が必要では。	垂井
-	その他	行政の紙を減らすという展開をお 願いできないか。自治会に配る 回覧物をはじめ、町で発行して いる依頼書、結果の報告など、 1枚でも少なくしてほしい。	-	東
-	その他	全国の行政、自治体の成功例や 取り組みの情報収集が必要では ないか。	参考にする。	宮代
-	その他	第5次総合計画の総括はいつやる のか。	来年の3月で29年度が終了する ので、それ以降になると思う。	宮代

-	その他	垂井町のふるさと納税はどういう状況になっているのか。	昨年12月からHPからでも納税できるようにしており、2,700万円ほど寄付していただいている。返礼品に金銭的な価値がある物や高額品を出すのは控えるように国から通知がきているため、各市町村は見直しをしている。垂井町においても近々見直しをする。	宮代
-	その他	以前からごみステーションに金属類を集める業者が来ている。おそらく日本人ではないと思うが、町の指定業者なのか。	こちらからも行政的な指導はしているが、まだそのような情報があれば、対処する。駐在さんには不審者の情報は常に入れている。	栗原